

(仮称) 都の北学園学校経営検討委員会
第7回校名・校歌・校章部会 議事要録

● 日時・場所・参加者

- 1 日 時：令和4年4月19日（火）午後7時00分～午後8時30分
- 2 場 所：赤羽会館4階 大ホール
- 3 参加者：校名・校歌・校章部会 16名 傍聴2名

● 議題

- 1 校歌のスケジュールについて
 - ・校歌完成までの流れについて確認した。
- 2 歌詞の検討について
 - ・各委員から上がった歌詞に対する意見は、全て栗原寛氏に伝えることとした。
 - ・歌詞は6月までに提出される予定であり、次回の部会で確認することとした。
- 3 校章のスケジュールについて
 - ・校章完成までの流れについて確認した。
- 4 校章の検討について
 - ・各委員から上がった校章に対する意見は全て大塚順司氏に伝えることとした。
 - ・再度提出される予定の校章を各委員に対しどのような方法で提示および意見集約するかについては、3校の校長と事務局との間で調整の上、決定することとした。

● 説明及び質疑応答

- 1 校歌のスケジュールについて

○事務局

作詞家の栗原寛先生には、事務局より既に作成依頼をしており、3月末までに一度仮の歌詞をご提出いただくこととしておりました。

本日の部会では、ご提出いただいた仮の歌詞について確認を行い、修正箇所等について意見の集約を行います。修正依頼のある場合には栗原先生にその旨をお伝えし、対応可能な場合は、次回の第8回校名等部会にて修正の上、ご提出いただく予定です。

次に作曲についてです。

仮の楽曲については、6月末までに1度ご提出をいただきます。7月の部会では、歌詞と曲の両方がそろった仮の校歌に対して意見交換を行い、主に曲についての修正箇所等について意見集約を行います。修正依頼のある場合は、9月末までにご対応いただき、

完成した校歌を10月開催予定の部会で確認し、決定するというような運びとなっております。

説明は以上です。部会長、お願いいたします。

○部会長

はい。ここまで何かございますでしょうか。

○各委員

(なし)

2 歌詞の検討について

○部会長

それでは、歌詞の検討について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

歌詞の案をご覧ください。こちらは、先日、栗原寛先生からご提出いただいたものでございます。皆様には、改めて歌詞の案をご覧ください、入れたい言葉や修正したい箇所などについてご意見を出していただければと思います。

また、検討に入ります前に、本日ご出席がかなわなかった栗原先生ご本人より、歌詞の制作に込められた思いなどについてコメントを預かっておりますので、僭越ながら私からご紹介をさせていただきたいと思っております。(栗原先生からのコメントを読み上げる。)

以上でございます。

○部会長

ありがとうございました。

栗原先生の歌詞に込められた思いについて、皆様に伝わりましたでしょうか。本日は、今のお話を踏まえた上でご意見をいただきたく思います。

それでは、ご意見のある方、どうぞお願いします。

○委員

歌詞を拝見して、どうも私のというか、日本人の感性としては、ずっと七五調というのが大体のベースになっておりまして、例えば、神谷中学校の校歌も「青雲のはるか富士ヶ峰を」と七五調ですよね。それから「都の北の荒川の」これも七五調で、そういうリズムになじんでいますし、日本人のリズムというのはそういう感じだったものですから、こちらの作詞を拝見し、七五調ではない新しいリズムなんだと。

今後、メロディーをつけたときにどういうふうに変わるのかなという一つの期待感もあります。今風なのかなと思ってはいるのですけれども、私も七五調でずっと育ったのでそういう感想を持ちました。

以上です。

○部会長

ありがとうございます。

同様なご意見でも結構ですし、また違った観点からもいただければと思います。そのほか、ご意見いかがでしょうか。

○委員

栗原先生のお話にもありましたが、荒川という言葉がありましたけども、荒川というのはこの神谷の地域をイメージする言葉なので、どこかで入るといいかなと思います。

また、今、ウクライナのことを思うと、もう少し世界に目を向けたような感じのものがあってもいいのかなと、一番最後に「世界 動きだす」というふうに書いてありますけれども、少しぴんとこないというふうな気がいたします。

○会長

ありがとうございます。

はい、お願いします。

○委員

保護者の中では、なぜ都の北学園なのかという校名に対して疑問を思われる方が多いと思います。3校の校歌の歌詞に「都の北」が入っていると伺っていますので、「都の北」が入っていた方が、都の北学園という名前につながるという点で良いと思います。

以上です。

○部会長

はい、ありがとうございます。

そのほか、いかがでしょうか。

○委員

前回の会議のときにも意見があつたのですが、新しくできる初めての学校ということで、私たち卒業生として、母校の校歌の一部を入れてほしいという気持ちもありましたが、大勢の皆様方は新しくできる学校なので、全くそういう今までのものを入れないで、新しい校歌をつくったほうがいいのではないかという、そういう意見だったと思います。そういうことでいくと、全く新しい校歌をつくっていただいて、ちょっとなじむまでには時間がかかるかも分かりませんが、これでいくしかないのかなという感想です。

○部会長

ありがとうございます。

続いて、どうぞ。

○委員

あまり歌詞についてはよく分からないのですが、「おお 都の北学園」。この「おお」というのが、小学校、中学校の皆さんが発する感じではないような気がして、なんかちょっと強い感じがすると思いました。

以上です。

○部会長

ほか、いかがでしょうか。

今までのところは、部分的にこういうフレーズを入れて欲しいとか、こういう表現はどんなのだという意見、また、これでいいのではないかというご意見、色々いただいております。

○委員

ここにメロディーが入るとまた違って見えるので、考え方が変わってくるかも分からないです。

○部会長

ありがとうございます。

ほかの委員の皆さん、よろしいでしょうか、このくらいで。

○各委員

(なし)

○部会長

ありがとうございます。

それでは、ただいまご発言いただきました内容については、事務局でまとめて、その上で栗原先生にお伝えいたします。依頼内容について対応いただける場合には、修正したものを次回の部会で皆様に確認いただく予定です。よろしく願いいたします。

ただし、スケジュールの関係上、並行して作曲については進めさせていただきたいと思います。またメロディーとの関係で一部歌詞を調整する場合がありますので、ご了承ください。

それでは、次回の部会では、こちらの歌詞に曲を乗せた仮の校歌について確認をいただきますので、よろしく願いいたします。

それでは事務局からお願いします。

○事務局

それでは、ただ今ご発言いただきました中で、修正依頼につながるものをまとめさせていただきます。各委員からいただいたものでございますので、改めて歌詞の修正を依頼する上で、部会の総意で依頼をさせていただくために、今の段階で、どれくらいご意見に賛同される方がいるかというところは、確認をさせていただければと思っております。

す。

発言いただいたものを整理させていただくと、修正依頼につながるものとしては、「荒川」を入れたいというところがまず一つございました。「荒川」を入れたいということについて、こちらに賛同される方はおりますでしょうか。「荒川を入れたい」ということを依頼させていただいてよろしいでしょうか。

○委員

どうやって答えれば良いか。

○事務局

そうしましたら、別の意見をお持ちの方は挙手をいただくという形でよろしいでしょうか。特に挙手とか何もなければ、賛同という形で。

○委員

私は川を入れるということは良いことだと思うのですが、昔は荒川だったところが、昭和の途中に東京都の方で岩淵水門までをいわゆる隅田川とし、そして、我々が荒川放水路と言っていた、そこが荒川というふうになったんですね。

そこの辺りで、荒川というと、今の時点ではおかしいことになってしまうんですね。かといって、隅田川というのも北区であまりなじみがないかなという感じを受けます。もう少し地域性はあってもいいのかなという感じは思っています。

○委員

私もそういう意味で発言したのですが、あと思いつくものがないんですね。環七と入れたらおかしい。地域のことだから。

○委員

私もこの詩を見て、ちょっと生意気なのかもしれませんが、全く新しいもので、これはこれでいいと思う方もいらっしゃると思うのですけれども、私が入れてほしかったのは「稲」という字が絶対に入れてほしかったなど、私自身の思いがありました。すみません。

○委員

事務局に伺いたいのは、どうしても決を採らないと駄目ですか。今、いろんな意見が出ましたということでは、駄目なのかなという気がするのですが。

○事務局

いろいろご意見いただきまして、本当にありがとうございます。様々なご意見をいただいた中で、個別にどの言葉というところについては、やはり歌詞との関係や、メロディーの流れ、そういったところがあるので、どこまで対応できるかというところが分からないところでございます。

その中で、ご意見を伺ってございますと、何らかの形での地域性と言いますか、そのようなイメージの言葉を入れたいというところのご意見ということでまとめさせていただければ、また栗原先生ともご相談させていただいて、その辺が対応可能かどうかというところは、事務局でお預かりさせていただければ検討させていただきたいと思います。

具体的に、例えば「荒川」という言葉を入れるか、あるいは「稲」という言葉を入れるか、そういったところにつきましては、全体とのバランスもございますので、今回の議論におきましては、地域性というものを何か加えさせていただくというふうなご意見ということで承ることができれば、先生とも調整をさせていただくことができるのかなと考えているところでございますが、皆様いかがでしょうか。

○部会長

皆さん、いかがでしょうか。

そのほかに「おお」という表現に対する疑問もありましたと私は記憶しておりますが、それも一応お伝えさせていただいて。

○事務局

「おお」という言葉でございますが、栗原先生のコメントにあったと思いますが、メロディーとの関係ということで「おお」を入れたという表現があったかとございますので、こちらにつきましては、栗原先生にご相談させていただきたいと考えてございます。

○部会長

ありがとうございます。

○委員

副部会長はどうお考えか聞かせていただきたい。

○副部会長

委員の皆さん、貴重なご意見、ありがとうございます。

今、7人の委員の方からご意見をいただきました。この意見について、どのくらい数があるのかというのは、この場ですべきではないと私は考えております。皆さん、せっかくご意見を出していただいたものですから、一度事務局に持ち帰っていただいて、整理をしていただいた上で、できれば栗原先生にはこういうご意見が出たということをお渡しして、その上で栗原先生のご意見も入れて考えをいただければいいのかなという気がいたします。

こういう言葉を入れたいということに対して、全体のバランスを考えてのプロの方からの代案もあると思うので、それは我々がぱっと見て、初見でこれを入れたほうがいいのかと言って、それで「じゃあ、入れましょう」ということはならない。いろんな考えやバランスがあると思うので、それについては事務局で集める形でいかがでしょうか。

それが一番いいかなと思います。それでないと委員の皆様失礼な気がいたします。貴重な意見をいただいたら、まずはお預かりというのがいいかと思っておりますけど、皆さん、

いかがでしょうか。

○事務局

ありがとうございます。

○部会長

ありがとうございます。

それでは、先ほどの事務局のまとめでいいということによろしいでしょうか。

○各委員

(異議なし)

3 校章のスケジュールについて

○部会長

ありがとうございます。

続きまして、校章についてのスケジュールについて事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

作成依頼をしてから校章が完成するまでのスケジュールをご説明します。

まず、大塚順司先生には、事務局より1月に作成依頼をし、3月までに複数の校章サンプルを提出いただくこととしておりました。

本日の部会では、校章サンプルで特に生かしたいモチーフ、修正案などについて意見を集約いたします。修正依頼がある場合は大塚順司先生にその旨をお伝えし、対応可能な場合には次回の第8回校名等部会までにご修正いただいた上で、次回の部会で校章を決定する予定となっております。

説明は以上です。部会長、お願いいたします。

4 校章の検討について

○部会長

ありがとうございます。

それでは、校章の検討について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

それでは、大塚順司先生にご作成いただいた校章サンプルをご覧ください。校章の決定については次回の部会で行いますが、本日は校章を決定する上で、こちらのサンプルについてご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○部会長

それでは、次回の部会で校章を決定するために、本日の部会で委員の皆様には九つの校章サンプルを確認いただいた上で、校章サンプルの中で特に生かしたいモチーフ、または修正案などについて、ご意見をいただきたいと思います。

それでは、何かご意見はありますでしょうか。

○委員

このサンプルの中から選ぶような感じでしょうか。

○事務局

基本的にはこちらが基になりますが、例えば1番についてどこを修正したいということでも大丈夫ですし、改めて作り直していただくようになりますけれども、これを基にこういうふうに変更してもらいたいということがあればご依頼をいたしますので、そのためのご発言をしていただければと思います。

○委員

このサンプルを見ると、全て丸ベース。シンメトリー、左右対称になっているんですね。もう少し、左右非対称のものとか、丸ベースでなくてもという案があってもいいのではないかなと。ほぼみんな同じ雰囲気なんですよ。もうちょっと形の違うもの、左右非対称のものとかがあってもいいのかなと思います。

○部会長

ありがとうございます。

そのほかのご意見はございますでしょうか。

○委員

なぜ桜なのでしょう。

○部会長

もし伝わっていたら、桜がある根拠を事務局から説明をお願いします。

○事務局

申し訳ございません。大塚順司先生からデザインについて、こういったコンセプトでということはまだお伺いできていないところでございますので、次回の部会までに確認させていただいて、できる範囲でご質問に沿える形でご回答できればと思っております。

○部会長

次回、ご回答いただけるということでございます。よろしく申し上げます。

ほかにご意見ございましたら、よろしく申し上げます。

○委員

桜は、北区の木だからなのではと思います。学校の校章は結構桜が使われているのが多くて、幾つか見てみると桜が1個どんというのが見受けられるのですが、大塚先生の意図ではないかもしれませんが、都の北学園は9学年なので、4番から先が、9個の桜を使っているのかなと。私の想像ではありますが、それはとてもいいのではないかなと思っています。

以上です。

○部会長

ありがとうございます。

ほかにご意見がありましたらお願いします。

○委員

先ほど、丸ベースのデザインというのがありましたが、標準服のエンブレムにすると丸ベースだとイメージが変わっちゃうという場合もありますし、エンブレムにしても大丈夫なような形のもを何かデザインしていただければと思います。

○部会長

ありがとうございます。

○委員

ちょっとお聞きしたいのは、1番、2番、3番で桜があって、その下に葉っぱなのかな。これは何をイメージしたやつなのか、分かったら教えていただきたいのですけど。

○部会長

事務局、お願いします。

○事務局

こちらについてもご本人様から直接お伺いできておりませんので、正確な回答ができないところではあるのですが、神谷小学校の校章で柏の葉を使っているものがあるので、そちらをイメージして作られたのだらうと推測できるころではあります。

○部会長

ありがとうございます。

次回詳しく、お伝えいただければと思います。

○委員

仮に柏の葉っぱを想像して書かれたのであれば、ちゃんとした柏の葉っぱにしていたほうがかえっていいのかなという気がします。

○部会長

ありがとうございます。
そのほかご意見、いかがでしょうか。

○委員

私は桜の花が九つあるのは、先ほど、1年生から9年生までという話がありましたが、見方によっては、町会、自治会とかこの地域に守られているというような、取り方というのもできるのかなと思いました。どれという意見ではないのですが、そのような捉え方をさせていただきました。

○部会長

ありがとうございます。
そのほか、いかがでしょうか。大体そのぐらいで大丈夫でしょうか。

○各委員

(なし)

○部会長

ありがとうございます。

いただいたご意見のうち、対応可能なものについては大塚先生に修正をお願いし、委員の皆様には次回の部会で改めてご確認いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

また、次回の部会では校章の選定を行うこととなりますが、現在の九つの案から一つを選定するのは簡単ではないと思います。そのため、事前に校章案の候補を二つないし三つ程度に絞っておく必要があると考えますが、候補を絞る過程においては、例えば校章デザインが、先ほどちょっとありましたけど標準服や体育着に入るような小さいサイズでも表現できるのかといったような実務的な見地も必要になると考えております。

つきましては、本日いただいたご意見を十分に踏まえた上で、後日、3校の校長で二つまた三つ程度の候補に選定させていただければと思います。いかがでしょうか。

この件について、3校の校長にご一任いただけますでしょうか。

○委員

この中から、選ぶということですか。

○部会長

これをベースに。修正を図ったものから選ぶかもしれません。

○委員

できれば、修正がかかったものを1回こっちとしては見てみたいと思うんですけど。

○委員

もうちょっと方向性が定まっていればそれでいいかなと思うのですが、今日、まだこれの雰囲気で行こうというところまで、合意に至っていないと思うので、このスケジュールでは難しいかなと。もう一回ぐらい打合せを行いたい。

○部会長

スケジュール感については、事務局どうですか。そういうご意見が出ていますけれど。

○事務局

貴重なご意見、ありがとうございます。

スケジュールについてですが、標準服にエンブレムを入れるというところで、今、学校運営部会の方で標準服の検討をしているところでございます。こちらの部会で校章が決定しましたら、標準服のメーカーに発注の依頼をかけるのですが、そちらの関係で、夏までに校章を決定する必要があるとございます。現在のスケジュールですと、次回の部会は7月の開催を予定していて、そこで決定すると標準服に校章を当て込むことができるというところで、そのようなことで考えてはおりました。

今のご意見を考慮いたしますと、次回の部会までの5月、6月、この2か月の間で一度部会を開催するという事にスケジュールとしてはなってしまうのですが、こちらはいかがでしょうか。

○部会長

逆算したらそういうことですね。当初の予定以外に、間に1回部会をやらせていただければ、委員の皆さんからいただいた手順でできるだろうということですね。

○委員

その後ろを待ってもらうことはできないのですか。

○事務局

そちらについては、学校運営部会の方で進めている話との関連もあり、改めて確認が必要になるため、今すぐにこの場で回答することが難しいところがございます。

また、ご意見ありました、校章の修正を依頼するにあたり、例えば左右非対称な形で改めて作っていただくとなったときに、校章の作成期間とか修正期間とか、そういったところも必要になりますので、今、お話がありましたとおり、後ろの期間をずらせるか、ずらせないかによって、開催できるかどうかというところが決まってしまうところがあります。そのため、今の段階でもう一度部会を開くことができるかどうかというところについて回答が難しいところです。

○部会長

部会を開くのは、事務局として回答ができない。

○事務局

それこそ、おしりを後ろに動かせるのであれば、例えば大塚順司先生に改めて校章の作成依頼をいたしますけれども、次回の部会を開くまでに校章を作成していただく必要がございますので、その作成期間を考慮する必要があると思っております。

そうすると、新たに左右非対称のデザインを1からご依頼するとなった場合には、例えば半月とか、そのぐらいの期間ではなかなか難しいところであると思えます。お相手のこともございますので、こちらでどのくらいというところはなかなかこの場で判断ではできないのですが、例えば1か月、2か月必要だという話になった場合には、次の部会は7月ぐらいの開催になるのかなと思うのです。

この7月の部会の後に、部会をもってくるのであれば、先ほどの話に戻りますけれども、標準服のメーカーへの依頼を後ろ倒しできるのかどうかのまず確認をさせていただきたいなと思っております。そのため、今の時点で先のスケジュールをこの場でちょっとお示しをするのが難しくなってしまう。

○部会長

そうすると、どうしても伸ばせない場合のやり方をもう一つ考えていかないといけないですね。

○事務局

そうですね。一つ今のお話の中で、今の校章（案）のデザインとは違う雰囲気のものをつくっていただきたいというご意見がございましたので、それについては大塚順司先生に対応いただける範囲で、事務局のほうから依頼をさせていただこうとは思っております。

ただ、それについてデザインがどういったものになったのかという報告の場がもしできない場合には、部会でご披露する前に、改めて3校長先生に見ていただいて、今いただいたご意見を参考にしながら2、3案程度、9個というとなかなか意見が分かれてしまうと思うので、これよりも絞った形。ただ少な過ぎない形で新しいデザインを含めたものを校長先生の一任で絞っていただいた上で、次回の部会で決定する形でお示しさせていただければと思うのですが。

○委員

私は、非対称のデザインを作って欲しいと言っているわけではないのです。似たような9個のデザインの中から選ぶことができないのです。選んだところで私たちが選びましたということになると、私としては納得がいかないのですよ。

ここの総意でこの校章になりましたという結果になるわけですよ。それにしても、あまりにもデザインのコンセプトも分からないし、似たようなものが9個並んでいるだけにしか私には見えない。9個あるのであったら、そのうちの3つが丸だったり、3つが非対称だったり、3つがいろんな形のものだったりして出てくれば、そこから絞り込むということも可能だと思うのですが、この案だけでデザインのコンセプトも分からず、

校長先生方に「では、ここからまとめてやってください、お任せします」ということに対し私は「はい」とはお返事できません。

もし、時間的余裕がなかったら少し頑張っていていただいて、何種類かもう少し出していただいて、それをファクスなり何なり、一々集まらなくてもいいです。各個々の意見を回答でもらっても集計というのはできると思うので、そういう方法が可能かどうか、ちょっと努力はしてもらいたい。

○事務局

かしこまりました。そうすると、書面にて、一度委員の皆様新しいデザインについて確認をさせていただく機会というのを設けさせていただきたいと思います。

○委員

あと、もう一点。これは私の意見ですから。皆さんが別にこの中から選んでも構わないというのであれば、それも多数の意見なのでそれはそれで構わないです。あとは皆さん、どう思うか。

○部会長

どうぞ。

○委員

今のご意見も分かるのですが、私が大塚先生の立場になり、もしも自分がデザインをするということを考えると、例えば、9個の中で「都の北学園」というものと「都の北」で止めているものと2タイプがございました。せめて、もう一度また考えて欲しいとお願いするのであれば、都の北「学園」は省いてもいいから、もうちょっと工夫をして欲しいというようなヒントがあれば、「よし、じゃあもう一回、バリエーションを増やしてみよう」というようになるのではないかと思います。いかがでしょうか。せめて、そのぐらいは皆さんで決めて申し送ってもいいのではないかと思います。いかがでしょうか。

○部会長

ありがとうございます。
いま一つ、ご提案をいただきましたが。

○委員

いいですか。

私は新たなデザインを依頼することについて賛成です。なんで丸のデザインなのか。バッジをつけるなら丸でもいいかもしれませんが、ブレザーですよね？そうすると、胸のエンブレムを見るわけですよ。

そういう格好からすると、丸という発想はどこからきたのか。ブレザーにこの丸の校章というのは、あまり粋じゃないかなと思うのです。そういう意味では、もう少しいろ

んな展開をしていただいたほうが良いと思います。こういうエンブレムの形の中に丸が入ってくる。ということだと分かりますが、9つの中で何とか強引に決め、ここに文章もありますけど50年、100年を見据える校章ですから、やっぱりもう少しやっていただいた方がいいのではないかと思います。

○部会長

ありがとうございます。

確認ですけど、エンブレムというのは、校章とイコールと考えていいのですか。逆にエンブレムは、校章とイコールのデザインはあまり見たことがないのです。

○委員

私、標準服の検討の場に何回か顔を出させていただいて、その際に、校章をエンブレムにした方がいいのではないか。という意見がすごいたくさんありました。そういうものあって、多分この形は本当に重要だと思います。

○会長

今までそういった意見が出ていたという、ありがとうございます。

○委員

すみません。もう一ついいですか。

今日見る限り、カラーリングがされていないんですけど、このカラーリングはされるのですか。

○部会長

いずれはしますよね、最終的な決定の段階では。

○事務局

そうですね。今、この中で9つに対して、カラーリングとなると依頼先にかかなりの負担になると思うんですね。次回、9個の中から選ぶのはなかなか難しいので、数を絞った形でなおかつ次回それに対してカラーリングをしていただくというところでご依頼をさせていただこうと考えています。

○部会長

では先ほど、せめて校章に使われている文字の部分について、「都の北」で止めているものと「学園」までつけているものとあるので、大塚先生のことも考えて、皆様の話合いの中でどちらかに決めていただけたらというご意見がありましたけど、それについてはどうでしょうか。

○委員

一つよろしいですか。

○部会長

はい。

○委員

私が思うのは、校章（案）で「都の北」と「の」が入っておりますが、カラーリングをつけたとしても、「の」があると少しややこしく感じます。「の」がなくても、「都北」だけでも十分学校のイメージが湧くんじゃないかなと思うので、私は平仮名の「の」が入っているようなのは、かえってややこしく見えてしまうんじゃないかなという気もしました。

○部会長

「の」は全部についていますよね。今議論になっているのは、「学園」を残すか残さないぐらいで意見の一致ができたらいいのではないかなという提案だったと思うのですが、さらに一步踏み込んで、今ご意見いただいたように、「の」まで取ってしまうという意見もひょっとしたらあるのかもしれない。

○委員

全部漢字とか平仮名ですが、アルファベットとか入れられないのかなと。

○部会長

アルファベットを入れるという案。

どうでしょうか。

○委員

いいですか。先ほどもお話しがありましたが、もう集まることは難しいでしょうから、もう一度違うものをつくっていただいたものを各委員のところに発送していただいて、そこで検討したほうが私はいいと思いますけど。

○部会長

ありがとうございます。

それでは事務局の提案のとおり、今、これまでにいただいたご意見を全て大塚先生のほうにお伝えいただいた上で、修正したもの、新たにデザインしたものを加えて、また数はある程度責任を持って、大塚先生にも考えていただければいいと思うのですが、そのデザインを皆さんに配付してご意見をいただくという、先ほどの事務局のご提案でまとめることはできないでしょうか。

○事務局

事務局でございます。

ただいま、いろいろご議論いただいているところでございまして、今の段階ではなか

なか絞ることは不可能だということでございます。それで私どもといたしましても、調整の期限がある中で大塚先生とご相談させていただき、何らかの形で委員の皆様へ改めて修正案、あるいは新しい案を含めまして、どこまで可能かどうかということをお大塚先生とも相談させていただきながら、皆様に対してどういう形で示させていただくかということは、部会長、副部会長ともご相談させていただきながら対応させていただきたいと考えてございますが、いかがでございますでしょうか。

○委員

大塚先生にエンブレムでも使われるということは、伝わっているのでしょうか。もし伝わっていないのだとしたら、先生にちゃんとお伝えいただいた方がいいのではないかと思います。お願いします。

○事務局

すみません。ご依頼の際には校章の作成ということで依頼をしております、標準服のエンブレムに入れるかどうかというところはまだ確定をしていなかったもので、そこについて具体的に依頼の中には入っておりませんでした。今の流れを踏まえまして、改めて次の提案をする際に、そちらについてもお伝えをさせていただこうと考えております。

○部会長

ほかに何か言い残された委員の方いらっしゃいますか。

○委員

取りあえず、まず基本的に事務局でまとめられた、皆さんからの意見を率直に大塚先生に全部出し、そこから考えていくことが大事なことじゃないかなと思います。もちろん、丸だけでは何となくあれじゃないかとか、いろんな話を全部含めて、大塚先生に一度ざっくばらんに話をされたらいかがかなというふうに思います。

それが一つと、それから「都の北」の「の」を抜いたほうが良いという話がありましたけど、ちょっと私も一瞬見たときにどうしても「とほく」と読んでしまうので、この「の」というのがやっぱり必要なのかな。「の」というのが入っていても、なんか「とほく」というふうに見てしまうなという感じがあってどうなのかなという感じを受けたのです。

ですから逆に、この3番の「みやこの」という平仮名で出ている方が分かりやすいかなと思ったりしている。でもそうは言ったって、漢字で「都の北」の方がいいかなという感じは持っているんですけど。「学園」はなくてもいいけど、あとは「とほく」となっちゃうと、ちょっとその辺りは抵抗があるなと、そういう感じを受けております。

○部会長

ありがとうございます。

○委員

いろいろ見ていますと、今、お話がありましたように「の」というのが非常に小さい。例えばこの桜の花びらがバランス的には一番下の方が大きくてどんどん小さくなっていく。それは包むようにしているからいいと思うのですが、「都の北」がしっかりと読めるように、見やすいようにしたらどうかと思います。

それと先ほど、カラーリングのお話もありましたけども、カラーリングするときに、例えば赤羽岩淵中学校のように字が小さくてこれだけやるとうるさ過ぎるのではないかなど。

ですから「都の北」としてもう少し文字を大きくしてということで、例えばこの丸の中でやるならば、6番だと「都の北」の下の花びらが大きくて文字が小さくて、ごちゃごちゃとした感じなので、桜の花びらをもう少し小さくして、文字を分かりやすくした方が、校名が分かるんじゃないでしょうか。その場合に「学園」というのは仮に省略しても、「都の北」というのははっきり校章に載せたほうがいいのではないかと私は思います。

以上です。

○部会長

ありがとうございます。

あとはよろしいでしょうか。

○委員

少なくとも「学園」は要らないと私は思います。

普通でいえば、何々中学校とか、小学校は、校章には入っていないので「都の北」だけでシンプルに入れたほうが良いと思います。

○部会長

うなずいた方が多かったということで、まとめさせていただきます。

それでは、本日の全てのまとめについて、事務局のほうからお願いいたします。

○事務局

本日は貴重なご意見、ありがとうございました。本日のまとめをさせていただきます。

まず、校歌の歌詞になりますが、色々と貴重なご意見をいただきまして、地域性を反映できるような歌詞、そういったものを改めてご依頼させていただきたいと思っております。また、「おお」という掛け声のところ、栗原先生の中では、リズムを取るところをあえて入れているということがございますが、これもまた違う表現ができるかどうかを含めて、改めて確認をさせていただきたいと思っております。こちらについては、次回の部会で改めてお示しをさせていただきたいと思っております。

校章につきましては、ご意見をまとめるということがなかなか難しいところがございますので、いただいたご意見を率直に大塚順司先生にお伝えをさせていただきます。その上で、修正なり新たに作成していただくように依頼させていただこうと思っております。

今後のスケジュールにつきましては、先ほどもお伝えしましたとおり、標準服のエンブレムの兼ね合いと校章の作成期間等のことも考えますと、部会を一つ5月、6月に追加するということは、難しいところがあるかと思えます。スケジュールの今後の進め方につきましても、例えば書面でデザインを皆様に確認していただき、その上で意見を集約し次回の部会の開催に向けて調整させていただくとか、そういったところも三校長先生含めて決定していきたいと、決まり次第ご報告をさせていただきたいというふうに、今の段階では考えておりますので、そちらにつきましても何卒ご理解いただければと思っております。

○会長

ありがとうございます。今後の進め方の確認はよろしいでしょうか。

(異議なし)